



Title	沖縄関係 沖縄返還交渉（共同声明・総理演説）（沖縄現地の反応（沖縄来電） 外務省外交史料館レファレンス番号：nd）
Author(s)	-
Citation	令和元年度外交記録公開 公開日：2019年12月25日 外務省外交史料館管理番号：B'5.1.0.J/U24 CD・DVD番号：nd
Issue Date	
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/45928
Rights	外務省外交史料館所蔵資料

沖繩現地、及び（沖繩未電）

秘

万博

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

505

総番号 (TA) 52998
 69年11月22日12時35分 主 管
 69年11月22日15時43分 本 省 発 着 米北1

外務大臣殿

岸 沖繩事務所長

日米共同声明に対する沖繩現地の反応 (連)

ネ411号 平 (秘扱) 至急

(総務長官へ ネ411号)

見出しに因しとりあえずの状況以下のとおり。

1. 屋良主席は22日午前5時より記者会見して次のような声明を發表した。(声明文空送)

(イ) 念願の祖国復帰が実現することと万感胸に迫まる思いで確認した。

(ロ) 今回の日米首脳会談に臨まれた佐藤総理文うびに愛知外相のこれまでの御熱意と御努力と御勞苦に対し心から敬

大政	外外	官
事務	典房	
次官	審密長	長
係長	友会	營給
人電	厚計	
参	企	
参	旅移	
ア	参地中東	
長	北北西	
米長	参北北保	
中南	参一二	
歐	参西東	
近ア	参参近ア	
長	次総経国万	
長	参廣統	
長	参政技二	
長	国一理	
長	参条協親	
長	参政経科	
長	軍社専	
長	参道内外	

秘

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

意と感謝の意を表する。

(い) しかし、共同声明の内容には満足していない。それはオ一に「核抜き本土なみク2年返還」ということで、所期の目的が達成されたと説明されているが、核基地の撤去、B52の取扱い、その他の前協試副の運用などをめぐって憂慮される問題を残しているからであり、オ二に、沖縄の米軍基地を要^{の要}として現在の日米安保条約を長期的に継続するような方針がとられているからであり、オ三に沖縄の全地域に戻って配備された巨大な米国の軍事基地が施政権返還後も殆んどそのまま維持されるように守るからであって「形式的な基地の本土なみには納得しないばかりか、不満を表

秘

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

明せざるを得ない」

(一) 沖縄県民は実際に復帰への作業が進められるといよいよ複雑困難な具体的諸問題に逢着することは火をみるより明らかなのであるから、この際いたずらに動搖することなく、思想、信条または立場の相違をのりこえて互いに手を握り、心と一つにして祖国復帰の大道に足並みを揃えろと共に、自主主体的に復帰に備える準備に真剣に取り組んでほしい。

2. このあと主席は記者団の質問に答えて次のように述べた。

(1) B52の撤去や基地の縮小等については従来より異常に強い姿勢で本土政府に訴えかけて行く。

(2) 安保条約反対、自衛隊の増強反

秘

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

対という主張は革新共闘会派の綱領どおり堅持する。

(い) 今回の共同声明と住民不在の「琉球処分」の繰返えしであるという見方も成り立ち得ようが、必ずしもそうは受取らな。沖縄の声を復帰準備に



注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

反映させるために完全本土を其、国政参加の早期実現を要求するほか返還準備委員会の顧問として、私も主張すべき点を大いに主張する。

(二) 「世がわり」に当つて今後の行政の中心を基地の存在による住民不安の解消並に其復帰に向けての経済不安の解消におく。

3. LAMPERT 高等弁務官は昨日石垣市で談話を發表して次のように述べた。

共同声明は歴史的ドキュメントである。これは太平洋をはさんだ二つの偉大な國の極めて重要なパートナーシップを更に強めるとともに沖縄の人々の日本本土へ復帰したという長い間の自然な悲願にも答えてゐる。

沖縄住民は新しい時代に入ろうとしてゐる時に、米國と日本は今や太平洋の恒久的な平和と安全を相互に求めあう上で新たな自信

秘

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

と協力を得てとるに前達することが出来た。
 琉球列島の施政権は月日つ成功裡に日
 本に返還さるるための準備を進める上で私
 は高等弁務官として米国民政府全体として
 大努力を続けるとを誓う所である。

4. 沖縄自由民主党は日米会談の成功を完
 全に支持しており、ドルマに目を入れて復帰
 実現を祝った経済界も、わが国に復帰歓迎の
 色を示しており、注目力「琉球議会」もこれ
 からの利益を経済政策上の配慮を本土政府に
 求めたこととして、22日朝は役員が集って
 セールで乾杯した。「沖縄人の沖縄をつくる
 会」でも「22年復帰がきまつた以上、これを
 力づけよと主張する」として、これ
 のグループは総理が

秘

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

「豊かや沖繩繰造りに全力を尽す」と明言されたことにはたいや好感を示している。

5. 一方革新系では社会党及び自民党が「アソア安保」をいし「核拡止、核安保」であるとして日米安保体制をめぐり論評と突撃を繰り返すに批判攻撃を行いつている他、復帰派の幹事会長は復帰の実現に「感覚量である」としながらも、(イ) 72年復帰は当然であり、むしろ遅りに失した。(ロ) 核の撤去について暫定的配慮はあろうだが、あつた表現のなかにはアメリカの機嫌を損ねないようにとり配慮があり、われわれの主体性ではない、相手側の都合によつていつ年か核が所は持たせられるかも知れない危険性がある。(ハ) われわれが要求してきぬのは単なる施政権の返還ではなく平和憲法下の平和を明る、沖繩の実現であつた。然るに今回政府は積極的に沖繩基地の重要性を公認しその存在を認め

秘

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

衣形での復帰を図った。然も安保条約の通
 案、特に事前仮試の弾力的運用により米軍基
 地は今後強化される可能性もあり、これは沖
 縄の犠牲について復帰を実現させたいもので
 あるとの抗議声明を發表した。

6. 街は平靜であり、目の丸を戸口に立てた
 家庭は極めて少ない。一部に懸念されてい
 た学生等の過激行動も発生していない。消
 息通は復帰後から26日に十八市内で開催する
 「安保廃案、一切の軍事基地撤去、日米両政府に
 抗議する暴民大会」にはかなり多くの住民が
 参加するであろう。衣形し共同声明に対する
 抗議行動としてはこの行動一回衣形だけで終る
 だろうと観測している。

(3)

-8-

ソカヒ

万博

注意

内訓

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

653

電信写

大政事外外儀官

事務次長 典房

臣官宜審察長長

秘書文会管給

総人電厚計

参下

参領旅移

総番号(TA) 5300/
 69年11月22日14時35分
 69年11月22日16時36分

主管
 十八 猪着 米北 /

外務大臣殿 岸 沖縄事務所長

日米共同声明に対する沖縄現地の反応について (連)

第412号 平 至急
 総務長官へ第412号
 往電第411号に関し

1969年11月22日降り→づく秋雨の中で
 沖縄100万の県民は予想された通り「共同
 声明」を平静裡に受けとめた。多年復帰
 運動の先頭に立ってきた屋良主席が「革
 新統一綱領」のからを破ることができな
 かった点失望を禁じえないが、祖国復帰
 を卒直に喜んでいる庶民も少なくないこと
 に注目したい。ただ今日沖縄県民の心には
 (1) 24年間にわたる米国の統治から、いよ

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電 信 写

いよ解放されるとする解放感、(ロ) 新らしい統治の責任もとるべき日本政府の沖縄政策に対する期待と不安、(ハ) 本土と沖縄との間の感情的な断絶に起因する「ヤマトンケウ」への劣等感と不信感、(ニ) 沖縄も包摂しあるいは沖縄に進出してくることのあるべき日本経済に対する疑惑と不安、(ホ) 物価、就職、進学資格の取扱い、その他自らの生活の将来についての不安、(ヘ) 施政権返還または「共同声明」の背後にあるべしと憶測する日米間の了解事項に対する疑惑と不安、(ト) 「共同声明」をどう評価すべきかについての自信の欠如と教条主義的公式論の自己批判的状況、(チ) 復帰後も現実に米軍基地が残ることから来る不安、(リ) 多年に亘る大衆運動の目標であった「祖国復帰」が保守政権の手で実現されたことに対するとまどい、(ロ) 目標の裏切による虚脱感と新しい目標の模索

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主旨変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電 信 写

(四) 本土の革新団体等との系列化をめぐる反発と焦りなどが雑然と混在し、平静さの底に複雑な陰影を作り出している。

祖国復帰が現実の日程となる過程で、沖縄の世論は複雑な分裂の要素を示したが、左右両陣営とも遂に沖縄の主体性を確立することに成功しなかつたことが特徴的な現象として指摘できる。このことは「要求する立場」から「実行する立場」への脱皮が完了していないことを意味する。このことから来る無力「沖縄では疎外という言葉が好んで用いられる」観が一方に、「復帰尚早」論を生むと共に他方で「アジア安保核抜き自由使用、軍国主義の復活」などと言った教條主義的宣伝の入り込む余地を作り出している。復帰運動の負的転換の名の下に今後後者の報道での運動が表面に浮べ出

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

てくると予想される（差し当り、11月
26日の行動に注目）が、それは既に「高ぶ
るみ」性を喪失し本土にも見ることができ
る反政府運動に系列化したその「沖繩版」
と見るべきである。

政府としてはこのよ様な「沖繩の心」に
きめ細かな配慮をねつても何々の現象に
一喜一憂することなく、以下の3本の柱を
中心として具体的政策の決定を急がれるこ
とが望ましい。

1. 本土と沖繩との間の「対話」を広く理
解を深めること一返還交渉がこれまで沖繩
を除外視して行われてきたとする現地の
不満を可及的に解消する意味において、(1)
沖繩県民の「差別なき」国政参加を速やか
に（できれば次の臨時国会において）実現
する、(2)復帰準備処置、沖繩振興開発計画の

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

策定などについては琉球政府の主体性を尊重する、(イ)沖縄で政府世論調査を数回実施する、(ニ)政府公報紙を琉球政府に回報する、(ホ)政府召集のすべての会議に琉球政府代表の参加を認める、(ハ)全国大会、全国会議などを沖縄で開催（経費は国庫で負担）し、本土、沖縄の交流を深める（昭和廿八年即ち復帰の翌年の植樹祭、国民体育大会などの沖縄開催を検討されたい）。

又、祖国復帰を「才の琉球処分」視されてはならないこと、(1)戦前の行財政構造と戦後の行財政構造とが根本的に異なることを警力的にPRする、(2)復帰に伴う生活＝経済不安を解消する、(3)可及的速やかに沖縄の振興開発についての政府の方針（長期、短期）を決定、公表する、(4)米価など復帰後も特例処置をとることが必要で、かつ可能な

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電 信 写

ものについては復帰前に速やかに政府の方針を決定、公表する、(イ)基地公害対策など現在の本土の制度、予算が明らかで沖縄の制度、予算よりも充実しているものについては復帰によるメリットを積極的にPRする(それには必要は政府の方針を決定、公表する)、(ロ)沖縄に対する財政支出については以下の諸点を配慮する。即ち沖縄県民の間に(イ)戦争の犠牲に対し本土政府による償いがまだ完了していないとする感情、(ロ)24年に亘る公共投資(支出金の支出の不足を一挙に回復しようとする空気)、(ハ)奄美に対する政府の施策を不満とし、その二の舞を絶対に避けたいとする空気、(ニ)米回資産は沖縄県民のために贈与されたものであり、もし日本政府がそれを買取る場合にもそのことを理由として沖縄に対する財政支出を減額し

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電 信 写

たいことを要求する感情(ホ)東南アジアに経済援助する以前に先ず沖縄に財政支出を行なうべきであるとする感情。

があるということである。これ等の点について措置よろしきを得ないときは「祖国復帰即オスの琉球処分」と見る批判を生みかねない。わが国経済の實力からして僅かの財政支出を措しむ余り、是のような批判を醸成することは如何にも愚策というべく、百万国民に「復帰してよかった」と実感させ得る適切な施策を是非とも実施すべきである。沖縄の復帰を全国的視野から積極的に活用すること。

今後沖縄に關しては各種の困難は問題の発生が予想される^上であるが、その都度沖縄を政治的、財政的な「重荷」と受取るような態度で対沖縄施策を講ずることは世

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電 信 写

紀の大業であつた沖縄返還の意義を没却することにならう。沖縄に対する施策や支出が同時に日本全体の生長と繁榮に寄与するよう周到な計画と広大な視野をもつて積極的に沖縄返還を活用するようの方途を御検討ありたい。

(了)